

デザイナーズベイビーから人権保障について考える中学校における新しい人権の学習

1 校種・教科・科目（分野） 中学校・社会科・公民的分野

2 単元名 新しい人権

3 学習指導要領上の位置付け C（1）私たちと政治

4 カリキュラムマップとの関連性 市民の権利と責任 科学技術と社会の発展

5 単元目標

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性
社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、政治が大切であることを理解している。	正義と幸福に着目して、新しい人権が認められてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現している。	新しい人権が認められてきた理由について、現代社会の課題に主体的に社会に関わろうとしている。

6 単元の特徴（教材観）

社会の急激な進歩の中で生きていく生徒たちが、人権が変化していくことを理解し、新しい人権が新たな対立を生むことがあることを実感することができる単元である。

7 単元計画

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	評価
1	・新しい人権について知る。 産業や科学技術の発展と社会の変化による「新しい人権」の必要性と内容について知る。	知識 技能		環境権や自己決定権など「新しい人権」が認められてきた理由について理解している。
2	・情報社会の中の新しい人権について知る。 情報化の進展によって登場した知る権利・プライバシーの権利・インターネットと人権の内容について知る。	知識 技能		情報化の進展に伴う具体的な課題と認められてきた権利の関係について、理解している。 インターネットの発達など、情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現している。
3 4	・デザイナーズベイビーの是非を 考えること通して、新しい人権がどのような対立を解消し、新たな対立を生むのかを正義と幸福を通じて考える。	思考 判断 表現	○	・新しい人権がどのような対立を解消し、新たな対立を生むのかを正義と幸福を通じて考える。

8 カリキュラム・マネジメント

この単元は、人権についてのまとめとなる。社会が急激に進歩していく中で生きていく生徒たちにとって、人権が固定化されたものでなく、時代ごとに変化していくことを理解し、新しい人権を認めることが新たな対立を生むことがあることを学ぶ。効率と公正、誰にとっての正義と幸福なのかについてまで深く議論することができると考えられる。新しい人権自体が約75年前に成立し、硬直化しつつある日本国憲法の限界を感じることもできるため、9条の改正について取り上げることが多い憲法改正について、人権の保障の面でも触れることができる。そのため憲法改正について9条の代わりに多面的に話し合うことができることが考えられる。

9 実施概要と実施した様子

第3次の導入で生徒にクラスの理想の子どもを作ろうという発問をして、性別、見た目、才能をクラス全体で選択させることでデザイナーズベイビーの作成を疑似体験させた。その後、デザイナーズベイビーを社会的に認めていくかどうかを全体で話し合った後、個人でこの仕組みを認めていくかどうかを判断させた。

クラスAでは18人が認めるという判断をし、認めないという生徒は6名だった。

認めるという生徒は、子どもを持ちたいと思っている様々なカップルが子どもを持つことができるのはとても良いと思うという求めた人にとっての幸福を重視する意見が多かった。また、自分たちに関係ないという社会全体について気づいていない生徒もいた。

しかし、認めていく中でもある程度制限をかけるべきだという生徒もいた。認めないという生徒は生まれてきた子どもについて着目し、その子どもの幸福を考えて判断していた。また、中学校段階もあるのか親の理想が押しつけられるのはつらいという意見も見られた。

2022年9月23日-1時間目

選択肢集計

名前をまとめる

認める (18件)

認めない (6件)

認める

ラベル1

不妊治療はとても費用がかかるし流産などで苦しんだり悩んでいる夫婦もいるのでその人たちや本当に子供を望んでいる人なら認めてもいいと思うけれど、子供の顔や髪色などは決めてはいけなかったと思います。また、その子達が差別に合わないような対策や親が育児放棄やこのデザイナーズベイビーを利用し利益を求めようとする人が現れないような対策があるならいいと思います。

認めない

ラベル1

親は子供を持つことが出来て嬉しいと思うけど、自分が子供の立場になってそのことを知ったときに本当に血が繋がっている人が誰なのか分からないし、自分は人の手によって作られた子のような気がして気持ち悪いと思った。

クラスBでは、認めるが14名、認めないが13名という拮抗した形になった。認めるという生徒は、少子高齢化の解決策としてや、同性愛などの多様なカップルが子どもを持つための手段として認めていくという最初からかなり制限をかけて認めていくことを考えていた。認めないという生徒は、親の理想ではなかった場合、子どもを認めずに、新しい子どもを手に入れようとするという子どもを商品のように考えるという市場経済に飲み込まれる可能性があるという視点や、富裕層のみが優秀な子どもを持つことで、格差が広がってしまうという社会全体の格差拡大の視点、自分たちがいくら努力してもデザイナーズベビーを超えられないという不公平感の視点という様々な視点から認めないという生徒がいた。第4次では、グループワークでレーダーチャートに意見をまとめていった。軸としては倫理に重点を置くために、誰にとっての正義と幸福なのかという概念を軸に入れた。第4次では右のレーダーチャートを使って班の意見を分析させ、その班のホワイトボードシートを見合い、コメントをつけていった。

クラスAは求める人の自由だから正義であり、幸福を追求することについて推進していくことは良いという風潮で話し合いが進んでいくグループが多かった。また、コメント機能を使っての意見の伝え合いの段階では世界と日本を分けて考えて少子高齢化している日本の場合は認めるというグループに多くの賛同者がいた。しかし、全体で話し合う場面になった所、子どもを優先すべきだという生徒の意見が強くなってきた。また、その子どもの幸福を考えるべきであるという科学技術がどこまで現在を生きる人々の幸福を最大にしても良いのかという議論に

2022年9月22日-5時間目

選択肢集計

名前をまとめる

認める	(14件)
認めない	(13件)

認める

ラベル1

少子高齢化を解消するためには優秀な子供が必要だから



当たり前になるといつでも捨てることができ、また買うことができちゃうので「出来の悪い子」だけが置いてかれて一生このレッテルを貼られてしまい「お金持ち」だけが好き勝手にできてしまい親としての責任がなくなってしまうから。

認めない

ラベル1

世界としての能力は上がるけど、努力でやることや東大に行っている人と同じ能力が必ずついてしまったら、その今までの努力してきた人たちの努力が無駄になるから。あと、自分が負けてしまうから。

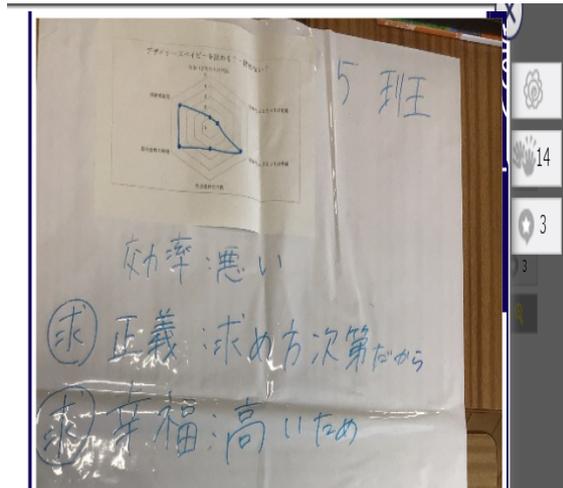
認めない

ラベル1

子供をお金で買うことができる社会になってしまつと、全てのことがお金で動くようになってしまつて、より社会が、裕福な層に人工的にできた能力の高い人ができてしまうので格差社会になってしまつたり、互いを尊重する世界が崩れてしまう気がするから

発展していった。

クラスAの話し合いの軸になった二つの立場の象徴的なホワイトボードシートとコメント



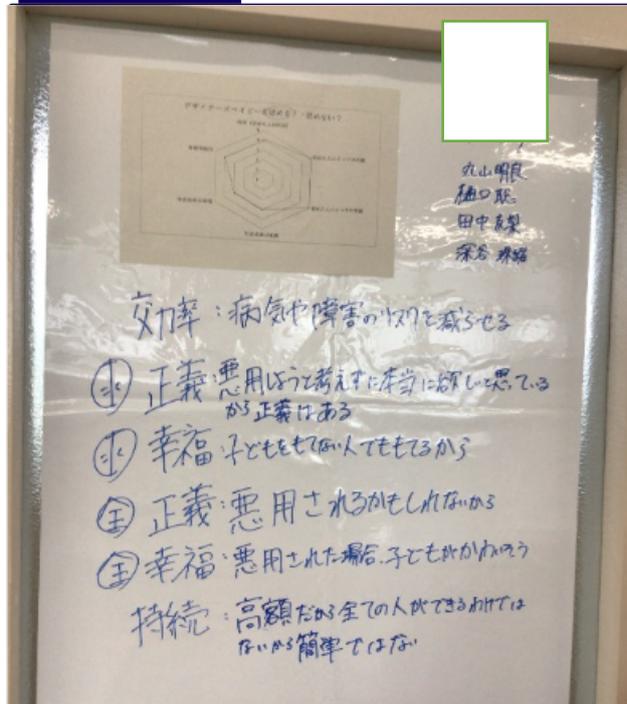
はくしゅ 14人が拍手しています。

3件のコメントがあります

さん

持続可能性というところで、日本的には少子高齢化対策でいいかもしれないが、世界的には人口が増加するので良くないという意見に確かになと考えました

班のシート



はくしゅ 2人が拍手しています。

5件のコメントがあります

さん

確かにお金がかかるので全ての人が出来るわけではないなと思いました

さん

授かる人より子供のことを優先するべきだし、悪用される可能性がある上で認めるのは違うと思います。

さん

病気のリスクを減らせるとしても、デザイナーズベイビーは人身売買なことに変わりはないので、認めない方がいいのではないかと考えた。

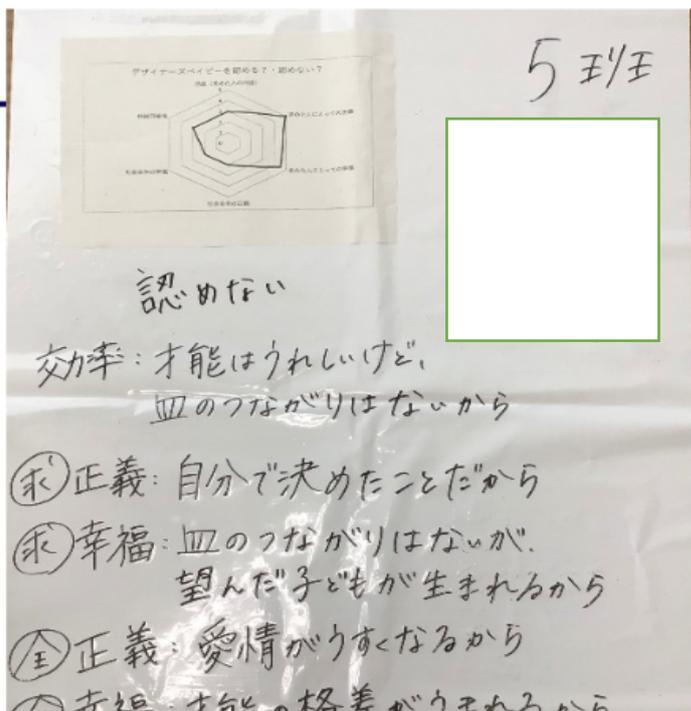
さん

子どもを持ってない人がもてるのはいいことだけど、人身売買とか人体実験みたいなことをしてるのには変わりないと思うし、悪用する

象徴的

イ
め
て
会
り

ト



はくしゅ 8人が拍手しています。

9件のコメントがあります

才能の格差ができる。というところに共感しました

さん

確かに愛情が薄くなってしまおうと思いました。

さん

持続しない理由に納得しました。私も望んでいる人は満足できるけど、社会全体では不満が出ると思いました。

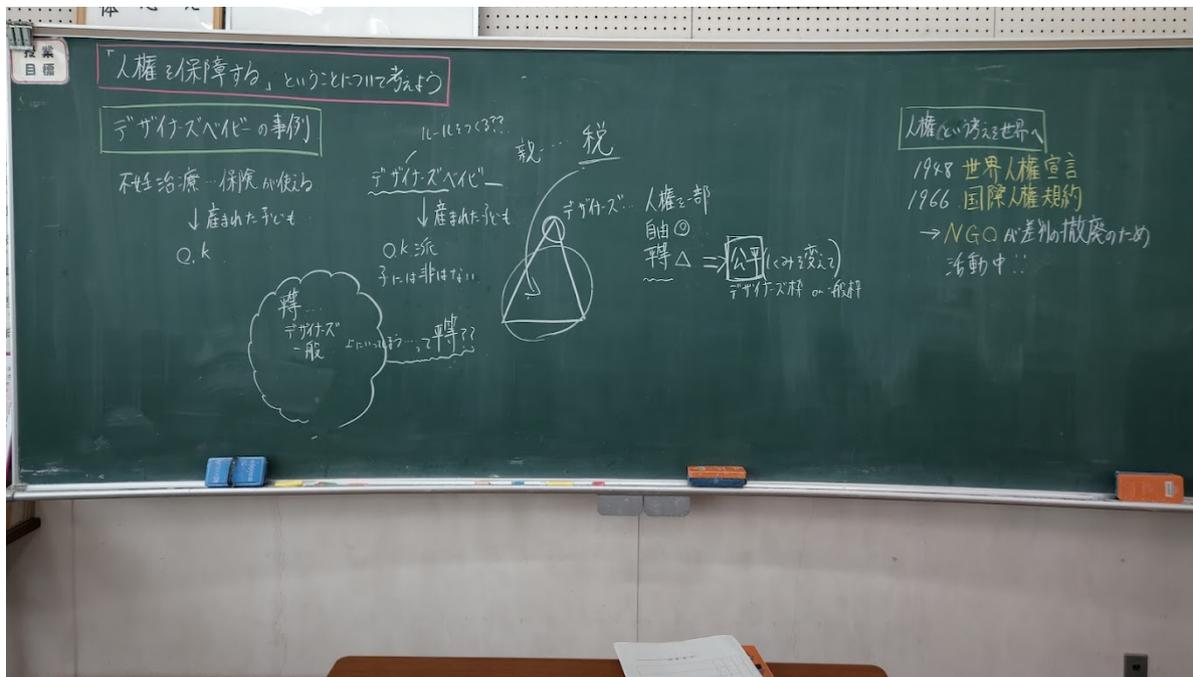
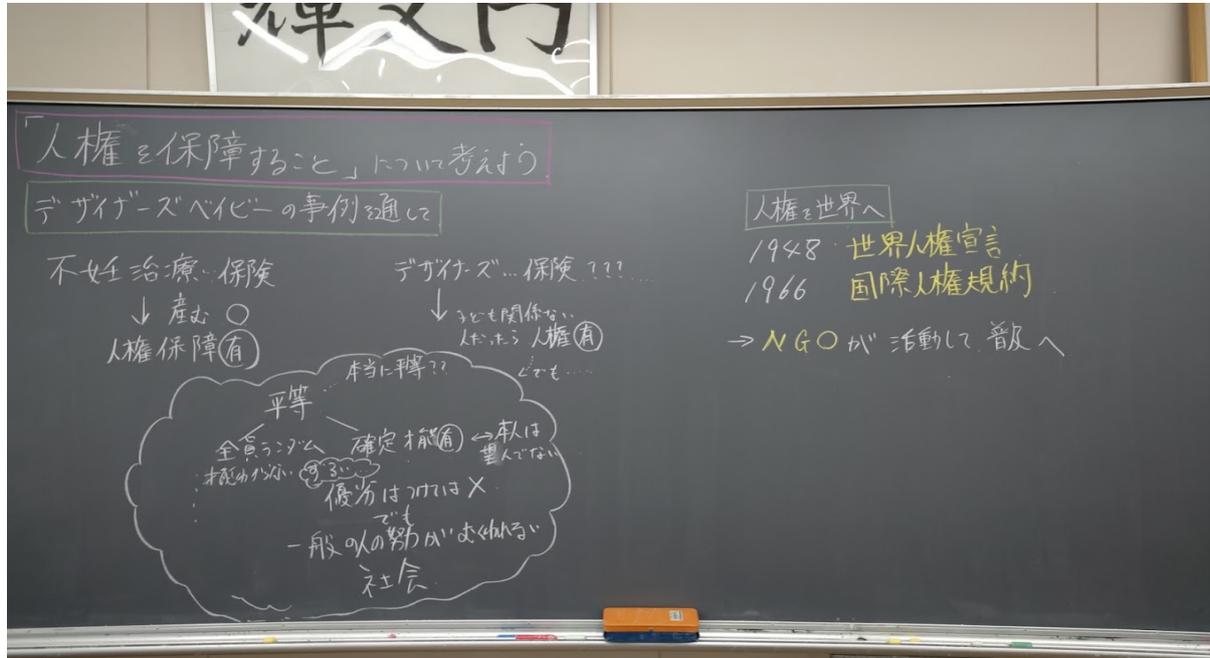
さん

求める人にとっては幸せなことだからいいと思ったけど、全体で見たらお金で子供を買うのは格差が生まれてしまうから良くないと思ったので難しいなと思いました。

最後のまとめとして、デザイナーズベビーを事例に人権を保障することについて考えた。するとどのクラスも平等と公平の違いが軸となり、社会全体の幸福の最大化をするために必要なことについて議論することに終着していった。

クラスAの板書

クラスBの板書



生徒たちの振り返り

問題文 人権を保障するときにどんなことが大切？

考えと理由

誰にとっても平等な条件であるかどうかをしっかりと考えることが必要だと思う。これからデザイナーズベビーがたくさん生まれてくるようになったら才能などは平等ではないかもしれないけど、ランダムで生まれてきた子たちと同じように生活していくわけだから権利の平等さはきちんと考えられて保障されるべきだと思ったから。

問題文 人権を保障するときにどんなことが大切？

考えと理由

デザイナーズベビーで生まれた子は望んで生まれてきたわけじゃないのに人権がないのはとても可哀想だと思うから人権は与えるべきだと思うけど、普通の子がどんなに頑張ってもデザイナーズベビーの子には敵わないので不平等だとも思った。

問題文 人権を保障するときにどんなことが大切？

考えと理由

人権は国民が平等であるためのものだからデザイナーズベビーの子に人権を持たせるのは難しいと思う。けど、生まれてきた子はなにも悪くないからデザイナーズベビーのための何かを作る必要があると思った。

問題文 人権を保障するときにどんなことが大切？

考えと理由

全ての人が生まれながらに平等というのが、人権で、でもそれがデザイナーズベビーとなるとほんとに生まれながらに平等な人権が保障されてもいいかと聞かれると、ずるいと思うのでほんとに生まれてきた子供たちみんなが、ほんとに分け隔てなく平等に生まれてきているかを考える事が大切だと思います。

デザイナーズベビーの権利を禁止する、というのは若干話し合いの焦点がずれてはいるのではないかと、思った。認めない、認めないを決めるのは難しいけど求めている人は必要性を感じているだろうしそれを良く思わない人もいるだろうけどその人たちには必要性はないから結局人によるし、[]さんのようにしっかりした法とその罰などをしっかり決めれば認めなくてもいいのではないかと考えた。

デザイナーズベビーの人権について考えると、私たちが不利に陥って平等ではなくなるから認めない、とも考えたけど私たちが同じ所で同じような生活を送っていく一人の人間として考えてみると、才能の面で私たちが不利になるのは別のことをやればいける人間としてデザイナーズの方か不利に陥ってしまうと考えたら人権は認めるべきだと考えた。

いて必要性を感じさせることが18歳市民力の育成につながっていくと考えられる。ま

拳手	理解度	振り返り
1	A	デザイナーズベビーのよりなもとも有利な人と普通の人と平等に同じものを与えてしまっても格差がでてしまうので、公平にして普通の人には少し多めのものを与えて有利な人には今までどおりのものを与えることでどちらを自由な競争にしたいと思いました。

た、中学校3年生段階で倫理リテラシーが担うこととしては、単元に縛られることなく、高校公共段階で取り入れられる社会の見方・考え方である「正義」と「幸福」に関わってくる社会現象での対立を多面的・多角的、ミクロ・マクロの視点などでの分析と議論を生徒たちが積み上げていくことであると考えられる。そのために、研究者や授業者がどの視点で分析させるかを教材の特徴を捉えながら軸を与えていくことが重要であると考えられる。さらに、倫理リテラシーとしてカリキュラムマネジメントとしては、道徳の価値項目Bの自分や相手に関する教材やCの自分と社会の教材と関連させることができると考える。また日本国憲法に定義されている人権は約75年前に成立し、硬直化し、社会の変化への対応が限界に近づいている日本国憲法の改正について第9条以外の政治課題として議論させることで政治分野との関連させることができると考えられる。

金原 洋輔（愛知県みよし市立南中学校）